



新型コロナウイルス感染症 高校生は今までと違う危機感を持って!!

感染力の高い変異ウイルス「デルタ株」の置き換わりが進み、10代以下の感染が増えています。

また、今までは大人から子どもに感染するケースが主だったのが、高校生同士でも感染しています。

これまでの感染症対策を“しっかり行っていく”ことが大切です。

ワクチン接種

市町村によっては高校生の接種が始まっています。保護者と相談をして接種をするかどうかを判断してください。学校では接種にかかる欠席や副反応による欠席は欠席とせず「出席停止」として扱います。

1回目を打ってから2回目を接種して免疫を得られるまで2週間程度かかります。受験生はそういったことも考慮し接種を検討してください。

マスク

ウレタンマスク・布マスクの色やデザインが気に入って着用している生徒も多いと思います。マスクの品質により効果が大きく異なることがスーパーコンピューター富岳による検証で報告されています。

デルタ株に感染した人が排出するウイルス量は従来型の約1,000倍と報告されており、不織布マスクを隙間なく顔にフィットさせて適切に着用することが感染防止には有効です。

	マスク無し	ウレタン	布マスク (フィルター無)	不織布マスク (ルーズ)	不織布 (フィット)
吐き出し	100%	48%	28%	24%	18%
吸い込み	100%	82%	70%	45%	25%

※数字は、飛沫の透過率

※理化学研究所ウイルス飛沫感染の予測に関する記者勉強会動画資料(2021年6月23日)第2版を基に作成

昼食

食事の際の感染事例が多いことはみなさんも知っていると思います。昼食は自分の席で食べてください。机を移動したり、友だちと話はしません(黙食)。昼食後はマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保ち、友だちとコミュニケーションをとるようにしてください。

換気

教室は空気が滞留しやすく、その空気が外に出ていかなければ感染が容易に起こる可能性があります。防ぐためには教室の空気がたえず入れ替わるようにする必要があります。必ず窓やドアを対角線上に開け空気の流れをつくり換気してください。

体調管理について

自分の体調に敏感になってください。のどの痛み、鼻水、咳、熱等がある場合は感染を疑い学校は休み、主治医等に相談をし医療機関を受診してください。また、家族で体調を崩している人がいる場合も登校は控えてください。

保健室からのお知らせ

- 学校管理下で、けが（熱中症も対象となります）をして病院へ行った場合は、保健室に申し出てください。日本赤十字振興協会の災害共済給付（医療費が戻ってくる）の手続きの書類を渡します。請求できるのは受傷日から2年間です。
- 定期健康診断の結果、治療や検査の済んだ人は、担任に受診結果報告書を提出してください。

